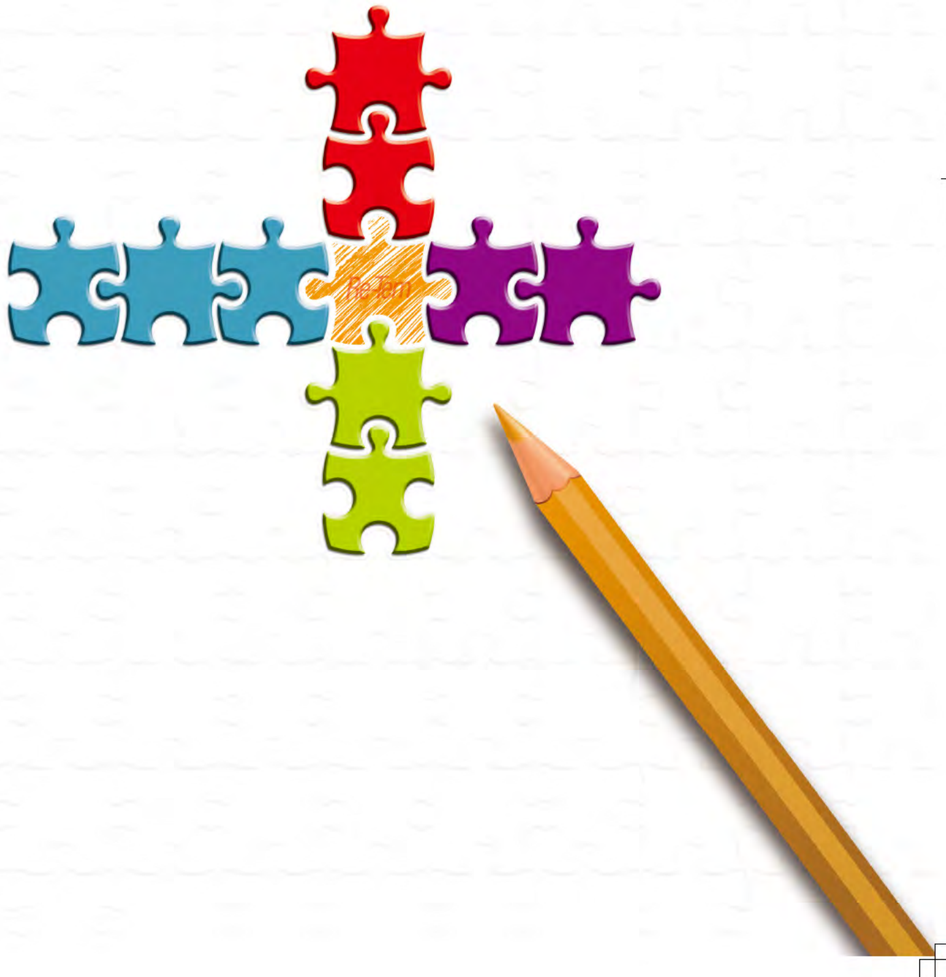
株式会社リーテム 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-10 Tel 03-3258-8586 Fax 03-3251-5804 http://www.re-tem.com

ver.20150801

Re-Tem

持続可能な社会をめざして

LINK TOGETHER



LINK TOGETHER

世界は今、サスティナブルな社会到来を予感させる夜明け前の状態です。
サスティナブルな社会が必要とするもの。それは、動脈産業と静脈産業のネットワーク、企業・行政・市民のコミュニティとしてのヨコのつながりです。
ソフトによってヨコにつながり、ハード偏重の重力から解き放なされた先に、サスティナブルな社会実現への道筋が見えてきます。
リーテムは、夜明けの薄闇の中で朝日を感じるように時代の変化を自覚し、経済と環境を両立させた日本発の国際貢献を目指します。
“思いやり”“気働き”といった日本人の優れた資質も十分に活かし、世界で、日本で、サスティナブルな社会の実現に向けて、廃棄物の再資源化(ハード)と高度な環境マネジメント(ソフト)の両面から取り組んでまいります。

代表取締役CEO
中島 彰良

経営理念　未来のために、よりよい自然環境を保全し、希望と生命力にあふれた社会の実現に貢献します。

時代と共に進化を続けるリーテム

1909年(明治42年)、水戸に創業したリーテムは、時代と共に進化を続けています。とくに金属複合材のゼロエミッションの実現、全国規模での廃棄物再資源化体制の確立、東京工場建設など、環境負荷低減に向けた技術開発・事業拡大に取り組んでまいりました。
21世紀を迎え、環境問題は人類存続に係る問題として益々その重要性を増しています。リーテムは環境保全専門会社として、蓄積した技術力、マネジメント力を駆使し、持続可能な社会の実現に向け、グローバルに事業を展開してまいります。

1909年
水戸市に創業
(今も残る旧本社屋。隣接する工場で再資源化事業を開始)

1962年
沈黙の春
(レイチェル・カーソン著)出版

1970年
水戸工場建設

1970年
廃棄物処理法制定
(日本)

1972年
国連人間環境会議開催
「人間環境宣言」採択

1979年
省エネ法制定(日本)

1985年
オゾン層保護に関する
ウィーン条約採決

1991年
資源有効利用促進法制定
(日本)

1992年
ブラジルで
地球環境サミット開催

1993年
水戸工場に高性能特殊破砕機
プロセスⅠ導入
OA機器など
金属プラスチック複合材の
ゼロエミッションに成功

1993年
環境基本法制定
(日本)

1997年
COP3で
京都議定書を採択

1997年
(株)リーテムに社名を変更
(東京都千代田区の本社)

1998年
廃棄物再資源化の
広域リサイクルネットワーク
J・RIC組織化

2000年
循環型社会形成推進
基本法制定(日本)

2002年
経済産業省委託事業
水戸工場のLCAデータ
分析事業実施

2005年
東京工場建設

経済産業省委託事業
国際資源循環に関する
調査事業実施

2008年
環境省受託事業
使用済み電気電子機器の
回収モデル事業実施

経済産業省委託事業
レアメタル等高効率抽出
分離技術開発事業実施

利早(北京)環境科技諮詢
有限公司を設立

2009年
中国の天津泰達低炭素
経済促進センター構想
支援が決定

2011年
北京法人を利泰姆(北京)環境科技諮詢
有限公司に変更

Re-Tem Global Eco
Management Inc. を設立

1909　1970　1980　1990　2000　2010

リーテムの動き
世界の動き

ECO MANAGEMENT エコマネジメント

リーテムは、ハード（廃棄物再資源化）とソフト（コンサルティング）の2つの事業を柱にしています。ハードとソフトは密接に連携しており、例えば産業廃棄物中間処理の受託を通じて個別コンサルテーションを、また環境教育を契機として廃棄物処理マネジメントサービスを受託するなどしています。

廃棄物再資源化事業

■ 産業廃棄物中間処理
東京工場、水戸工場

■ 産業廃棄物収集運搬

■ マネジメントサービス
リサイクルマネジメント請負サービス／資源リサイクルチェーン・マネジメントサービス など

■ 調査研究
資源循環調査研究／レアメタル回収技術研究 など

■ J・RIC
広域リサイクルマネジメントサービス

■ リユースサービス
製品、パーツなどのリユース

■ ワンストップサービス
店舗解体撤去ワンストップサービス など

コンサルティング事業

■ 環境コンサルティング
廃棄物管理／広域認定取得支援／処理コスト最適化／LCA分析／カーボンフットプリント導入支援／環境法令コンサルテーション など

■ セミナー・研修
廃棄物管理リスクセミナー／廃棄物処理法セミナー など

■ 環境教育
企業、学校、行政などでの講演／体験型環境教育プログラム など

■ エコマネジメントサービス
エコマネジメント拠点構築支援／企業内資源循環センター構築支援 など

HARD ○ SOFT

東京と水戸の2拠点でゼロエミッションを実現

リーテムは国内に2つの産業廃棄物再資源化工場を設置しています。首都圏はもとより関東広域で排出される大量の産業廃棄物の再資源化、ゼロエミッションに取り組んでいます。

東京工場 TOKYO PLANT

2005年、東京スーパーエコタウン内に建設した最新鋭工場です。首都圏で排出される金属系廃棄物を中心に様々な廃棄物を再資源化しています。

所在地：東京都大田区城南島三丁目2番9号
敷地面積：5,293㎡
処理能力：破砕機864t／日

水戸工場 MITO PLANT

1970年に稼動した総合工場。破砕機、切断機などを設置し、大型産業機械から小型電子機器まで多様な廃棄物を高品位で再資源化しています。

所在地：茨城県東茨城郡茨城町長岡3520
敷地面積：29,287㎡
処理能力：破砕機37.8t／日、切断機80.0t／日

東京工場の特徴

■ 物流コスト、環境負荷を低減
廃棄物の大量排出地である東京のほぼ中心に位置し、物流コスト、運搬時のCO_2を低減

■ 864t／日の大量処理能力
一日で10tトラック約100台分もの大量の処理能力

水戸工場の特徴

■ 高品位な再資源化処理
鉄、非鉄金属共に、一般のスクラップに比べ格段に高品位な分離・再資源化処理を実現

■ 小型電子機器から大型工作機械まで対応可能な専門処理能力
破砕機、切断機、独自ノウハウで小型の携帯電話から大型の工作機械までを処理

リーテムの再資源化事業方針

■ 再資源化効率を高める人間と機械の協働体制
処理前に手解体・手選別、処理工程はオートメーション、さらに人の目でチェック

■ 広域認定制度のもとで指定される高い信頼性
パソコン、OA機器メーカーの広域認定指定工場

■ 万全を期すセキュリティ体制
施錠保管、監視カメラ、24時間監視、入退出管理などにより情報漏洩や盗難を防止

2工場が連携し、高精度リサイクルによる高品位処理を実現

リーテムはそれぞれ特徴を備えた2工場が連携して産業廃棄物再資源化処理を行っています。
このため他社には見られないメリットが生まれます。

2工場連携のメリット

■ **高品位処理**　東京工場で破砕処理した非鉄金属混合物を水戸工場でさらに高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウムなどに細かく選別

■ **多様な廃棄物を受入**　特徴の異なった2工場体制で携帯電話、パソコン、ATM、大型工作機械など、小型から大型まで多様な廃棄物の受入が可能

受入品目例

OA機器類
パソコン、サーバー、モニター、複写機、ケーブル、UPS(無停電電源装置)など

什器類
机、椅子、キャビネット、パーティションなど

機械類
製造機械、加工機械、印刷機、計測機、コンベアなど

小型家電類
携帯電話、音楽プレイヤー、デジタルカメラなど

電気機器類
自動販売機、自動発券機、現金自動預け払い機(ATM)、配電盤など

店舗(商業)設備類
陳列棚、ショーケース、厨房機器、空調設備など

家電類
ビデオデッキ、オーディオ、電子レンジ、扇風機など(家電リサイクル法対象4品目を除く)

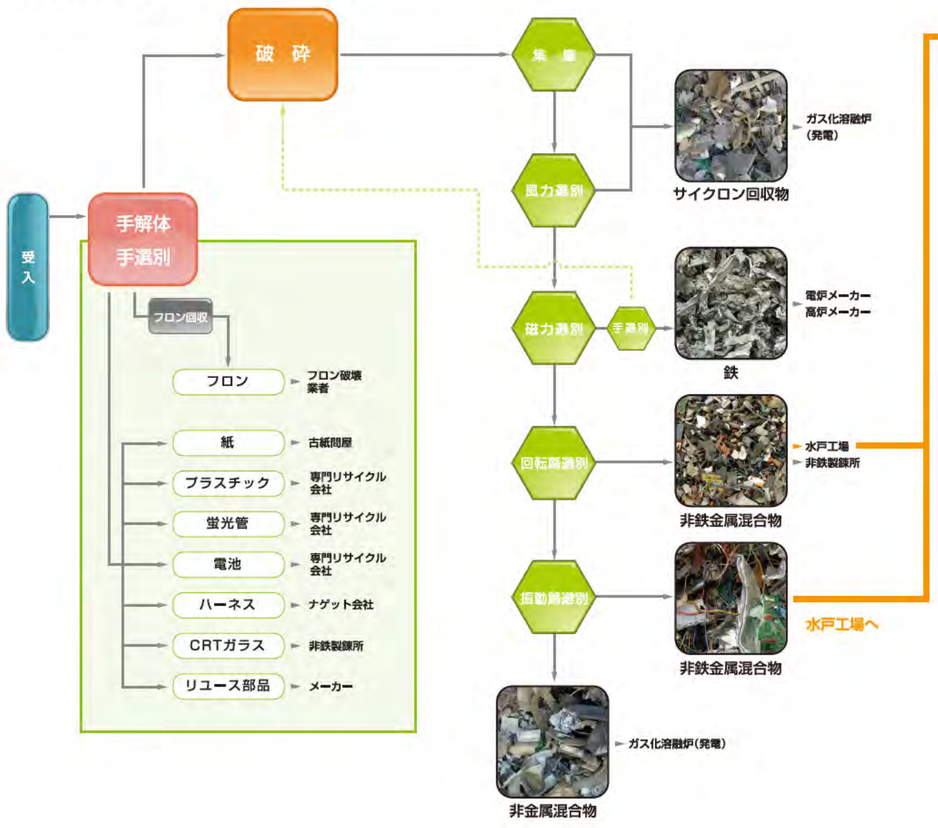
その他
金属系廃棄物、廃プラスチック類など

ATTENTION

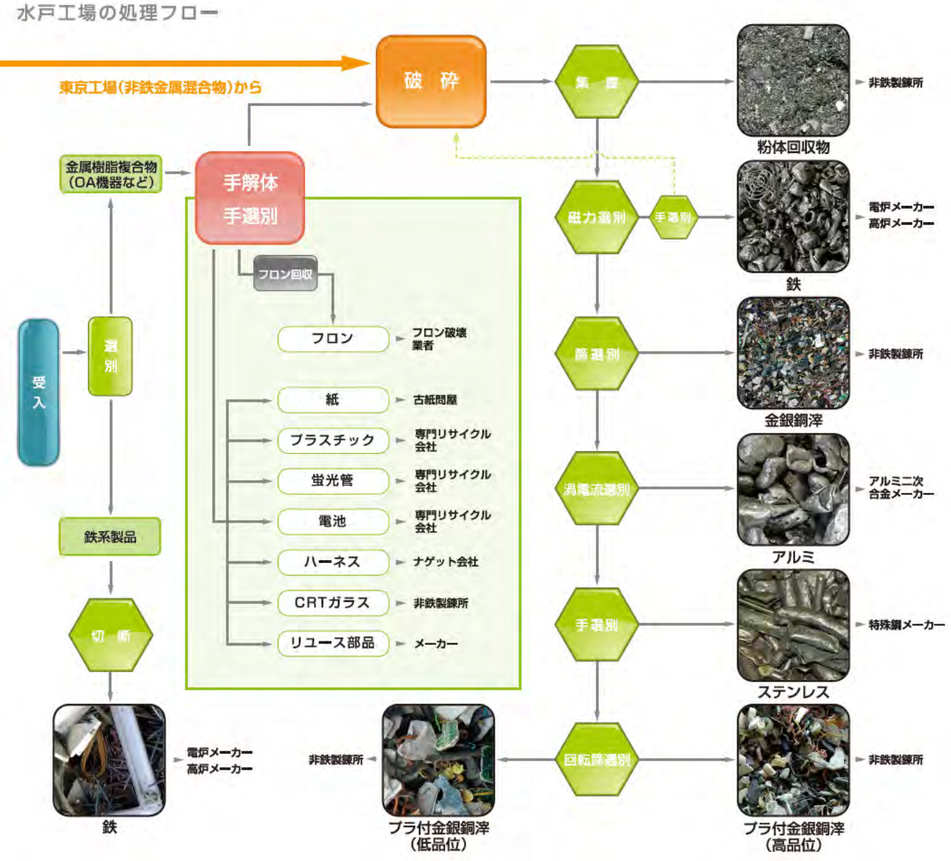
再資源化完了報告書の発行サービス

お客様のご要望に応じて、搬出場所での積み込み、工場での荷下ろし、破砕、マテリアルバランス分析、出荷先などを写真や文章によって明示した再資源化完了報告書を発行しています。
マニフェストだけでは確認できない透明性と安全性が確保できます。

TOKYO
東京工場の処理フロー



MITO
水戸工場の処理フロー



廃棄物再資源化の実績をベースに多様な派生サービスを展開

リーテムは東京、水戸工場での産業廃棄物再資源化事業の実績をベースに、業界ネットワーク、処理技術、操業ノウハウを生かした様々な派生サービスを展開しています。

“技術と資源”に精通した廃棄物処理マネジメントサービス

リサイクルマネジメント請負サービス

市場から自社製品の回収・リサイクルを志向されるお客様に対し、リサイクル設計、回収物流など、事業全般に渡るアドバイスやリサイクル事業そのものを請け負うサービスです。家電品、携帯電話、複写機などのリサイクル工場でも実績を上げています。

ATTENTION

リサイクルマネジメント請負サービスのイメージ

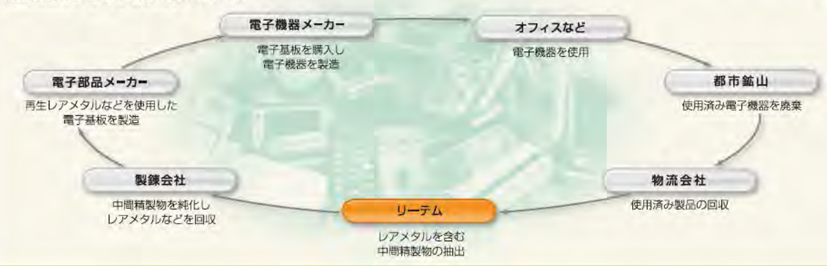
リーテムがお客様サイトで、リサイクル全般のアドバイスやリサイクル事業そのものを請け負います。

資源リサイクルチェーン・マネジメントサービス

リーテムは物流会社、製錬会社と協力関係を築くことで、収集・運搬、解体・選別、製錬を一本化したネットワークを構築し、レアメタルを含む資源の安定供給に向けたリサイクルチェーン・マネジメントサービスを行っています。

ATTENTION

都市鉱山からの資源回収イメージ



調査研究

資源循環、資源回収を推進する調査研究

官公庁や自治体、民間企業より各種調査研究業務を受託し、先進的なリサイクル技術、再資源化スキームの開発、製品のリサイクル性向上などに向けた各種取り組みを行っています。

<主なサービス>

- 資源循環調査研究
- 製品のリサイクル関連分析
- （リサイクル率、CO_2、コスト算出など）
- レアメタル回収技術研究 など

広域資源循環を進めるマネジメントサービス

広域リサイクルマネジメントサービス（J・RIC）

全国、エリア規模で事業を展開する排出事業者向けの廃棄物再資源化サービスです。リーテムが主幹事となり全国の処理会社をネットワークし、全国同一水準のサービスを実施します。　＊J・RIC＝Japan Recycle Improvement Committee

J・RICの特徴

- 全国8ブロック31社50拠点以上
- （社）日本鉄リサイクル工業会メンバーが中心
- ISO14001認証取得企業が多数
- 大手メーカーの広域認定指定会社（工場）が多数
- 北海道から沖縄まで網羅

ATTENTION

J・RICご利用のメリット

社内管理業務の一元化と負担軽減、処理コストの平準化、委託先処理会社のレベル向上と均一化によるリスク低減、処理フローの透明化、コンプライアンス向上など、J・RICは数多くのメリットをご提供します。

廃製品の再利用で環境負荷を低減

リユースサービス

製品リユース

パソコンなどの使用済み製品を再び製品としてリユースするサービスです。専門担当者によってデータ消去に万全を期しています。

パーツリユース

製品リユースが困難な場合などは、製品を構成する部品のリユースを検討することができます。例えば手解体によって液晶パネルなどの再利用を支援します。

お客様のニーズにワンストップで対応

パッケージサービス

多様なニーズに合わせ、複数のサービスをパッケージ化してご提供します。

<主なサービス>

自動販売機リサイクルサービス	中古パソコンワンストップサービス
産業機械リサイクルサービス	店舗解体撤去ワンストップサービス
金融関連機器リサイクルサービス	梱包材回収・処理サービス など

ATTENTION

実例：店舗解体撤去ワンストップサービス

コンビニエンスストアなど店舗向けサービスです。新装開店やリニューアル時の新しい什器・備品などの運搬・設置作業と廃棄物の運搬・処分、また閉店時の撤去作業を一括で請負います。業務管理が一元化できるだけでなく、運搬コストやエネルギー、CO_2排出量の削減につながります。また、廃棄物のプロが請負うため、コンプライアンスについてもご安心いただけます。

プロの視点でお客様を“環境ドック”

長年に渡り、廃棄物再資源化の実務に取り組んできたリーテムは、現場を知るプロの視点で、コンサルタント会社とは一線を画した“環境ドック”を実現します。

環境コンサルティング＆ソリューション

リーテムでは長年に渡る廃棄物処理･資源リサイクル事業で得た経験、ノウハウを活かし、廃棄物関連を中心に各種環境分野におけるコンサルティングサービスを行っています。また企画提案だけに留まらず、実際の業務立ち上げから運用段階までを支援し、ソリューションの提供も行っています。

<主なサービス>

- 廃棄物管理手法の構築
- 廃棄物管理リスク診断
- 廃製品全国回収リサイクルシステム構築(広域認定取得)
- 廃棄物処理コストの最適化
- 廃棄リサイクル段階のLCA評価･分析
- カーボンフットプリント導入支援
- 各種環境法令コンサルテーション など

セミナー･研修

廃棄物処理事業者として多くの事例に通じるだけでなく、社内に「法務部」を備えるリーテムは、法律･法令に関する豊富な情報をタイムリーに入手してデータベース化しています。規制強化の方向で改正が進む各種環境法令を中心に各種セミナーや個別研修を行っています。

<主なサービス>

- 廃棄物管理リスクセミナー
- 廃棄物処理法セミナー
- 各種環境法令セミナー など

ATTENTION

リーテムの「法務部」機能

リーテムは廃棄物業界の中でも珍しい「法務部」を設置しています。法務部は営業、工場、さらに委託先業者までをカバーし、法律･条例だけでなく、リーテム独自の自主管理規則、自主監査に基づいたコンプライアンス実現の要となって活動しています。

キリンホールディングス(株)様にて開催した
リーテム法務部によるセミナー

環境教育

リーテムは企業、行政、教育機関など多様な分野で環境教育を積極的に支援しています。「見る」「聞く」「感じる」「体験する」をテーマに、受講者自ら積極的に講義などに参加してもらい、環境･資源の大切さ、リサイクルの重要性を学んでいただいています。

<主なサービス>

- 企業、学校、行政などでの講演
- 企業の環境教育コミュニティービジネスの支援
- 小中学生、地域住民向け体験型環境教育プログラム など

見る
リサイクル工程を見学し、廃棄物が資源に生まれ変わる様子を肌で感じる

聞く
リサイクルの仕組みや大切さについて、スライド、映像などを使ってわかりやすい説明を聞く

感じる
廃製品の中身やリサイクル材料に触れ、資源の大切さを体感する

体験する
廃製品を実際に解体･分別してみることでリサイクルに関する知識を深める

“個々の改善”から“システムの改善”へ

環境問題の解決には社会システムの変革が必要です。リーテムは都市や地域全体の環境負荷を低減する社会システムの変革を提唱しています。

エコマネジメントサービス

個人、企業、行政などがそれぞれ懸命に環境問題に取り組んでも、そこに連携がなくては全体の改善はなかなか進みません。例えばA企業で廃棄物として排出した資源を地域内のB企業が再利用したり、地域全体で環境インフラを共有するなどすれば大きな効果が得られます。リーテムは「ヨコ」のつながりを重視したエコマネジメントを提案しています。自治体と企業、企業と企業を「ヨコ」につなぎ、地域全体の環境負荷ばかりでなくコストの低減も実現するシステム作りをサポートします。

ATTENTION

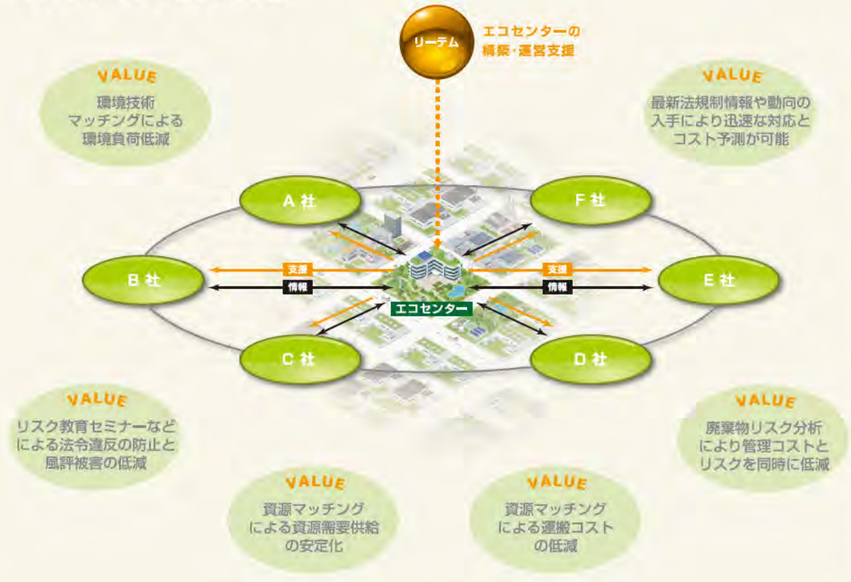
エコマネジメントの拠点「エコセンター」

都市、工業団地、企業グループなど、一定範囲内での環境管理、情報収集拠点の役割を果たすのが「エコセンター」。地域内の企業、住民、組織のニーズや課題、外部環境情報を集約、分析、施策実行することで、全体のマネジメントを最適化します。リーテムは「エコセンター」構築･運営の支援をします。

<主なサービス>

- **目標管理支援** 省資源、廃棄物再資源化など、課題に応じた目標管理の仕組みを提案
- **環境技術導入支援** 優れた環境技術に対する需給のベストマッチングを実現
- **情報提供** 住民、企業向けに環境関連の最新情報、法律情報を分かりやすく提供
- **教育･研修** 資源循環などに関する企業、住民向け研修、教育イベントの企画･運営
- **企業向けコンサルティング** 企業のコミュニティビジネスに関する企画･提案

エコセンターの概念図(工業団地の例)

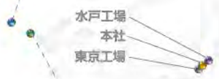


エコマネジメントを世界へ

リーテムには世界の国々から、資源と廃棄物に関する相談が寄せられています。また海外進出を強化する日系企業からも協力要請が高まっています。現在、リーテムは中国、米国に計3つの拠点で、グローバル事業を意欲的に推進しています。

北京に環境マネジメント会社設立

- 名　　称：利泰姆(北京)環境科技諮詢有限公司
- 設　　立：2008年11月
- 場　　所：北京市
- 事業内容：中国の自治体、中国企業、日系企業に対する資源循環・省エネルギーに関するコンサルティング、中国市場の調査など



シアトルに環境マネジメント会社設立

- 名　　称：Re-Tem Global Eco Management Inc.
- 設　　立：2011年2月
- 場　　所：ワシントン州シアトル市
- 事業内容：米国の自治体、米国企業、日系企業に対する資源循環・省エネルギーに関するコンサルティング、米国市場の調査など

天津でエコセンター支援

- 名　　称：天津泰達低炭素経済促進センター
- 期　　間：2008年～
- 場　　所：天津市
- 事業内容：経済開発区内において環境に関する情報交換、技術展示、研究開発などの拠点となるエコセンターの支援

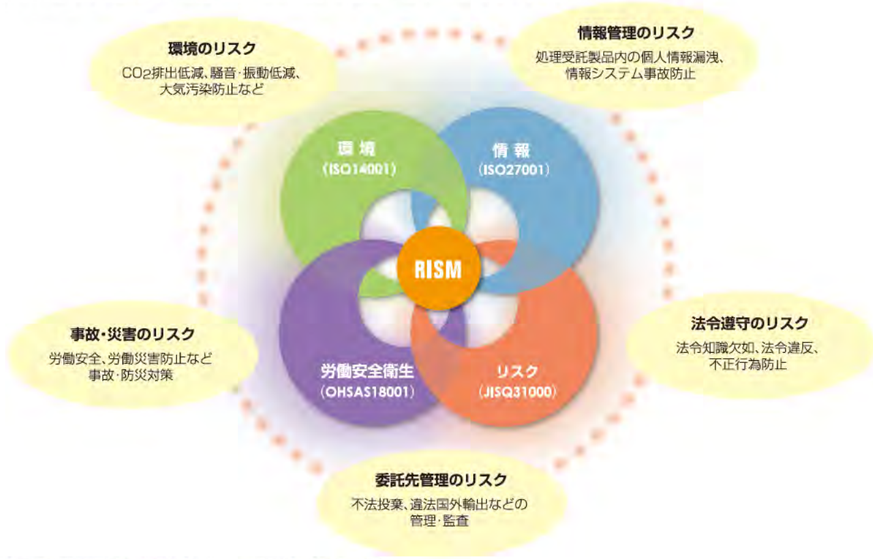
お客様のリスク最小化に向けて

リーテムはＲＩＳＭと名付けた統合マネジメントシステムによって、お客様が安心して処理を委託できる体制を確立しています。

RISM*の下に4つの公的規格を統合

＊RISM＝Re-Tem Integrated System of Management

RISMは環境、情報、労働安全、リスクの４つの公的規格を効率的に運営できるよう、ひとつに統合したマネジメントシステムです。従業員が自発的にPDCAを回す仕組みを確立しており、お客様のニーズに応えるだけでなく、環境保全事業者であるリーテムが社会的責任を果たす骨幹としています。



公的規格に基づいたリーテムの取り組み

環境(ISO14001)	環境保全企業の責任を自覚し、環境法令の基準値を上回る自主管理基準を設け、廃棄物の適正処理と再資源化によるゼロエミッションの実現、CO_2排出量、エネルギーの低減などに取り組んでいます。
情報管理(ISO27001)	取り扱う廃棄物の中で情報機器の占める割合が高い為、万全な情報セキュリティを実現しています。顧客情報などの漏洩防止のため、機密保管、データ消去などを厳格な基準に基づいて実施しています。
労働安全衛生(OHSAS18001)	廃棄物処理業の労働災害率は他の業種と比較しても依然として高いのが現状です。従業員が安心して働ける職場作りを推進すると共に、労働災害によってお客様の処理スケジュールに遅延が生じることのないよう取り組んでいます。
リスク(JISQ31000) (日本規格協会による指針)	● 法令遵守 「法務部」が中心となり複雑な廃棄物処理法の社内勉強会を頻繁に開催しています。常に関係法令知識と処理事業者としての意識の向上を図ることで適正処理を実現しています。 ● 委託先・売却先・収集運搬事業者の監査 2次委託先の不正行為は排出事業者の責任となるため、リーテムの委託先、売却先に関しても監査を実施、また提携している収集運搬事業者への監査も実施しています。

環境・社会側面で多彩な活動を展開

企業の社会的責任(CSR)を果たすため、リーテムは環境側面、社会側面でも多様な取り組みを続けています。

環境側面

工場、本社でISO14001に基づく環境保全活動を徹底しています。特に地球温暖化防止に関して、LCA分析を導入しCO_2排出量を把握し、その低減に努めています。また、茨城県産業廃棄物協会主催の不法投棄監視パトロールに参加しているほか、毎年「ビーチクリーンアップ in 城南島」にも参加しています。

不法投棄パトロールに参加した従業員

「ビーチクリーンアップ in 城南島」に参加した従業員

社会側面

小中学校、行政など様々な組織、団体の工場見学を積極的に受け入れているほか、各種研究会、イベントなどに招聘され、講演活動を活発に展開しています。また水戸工場では福祉施設との作業協力、養護学校生の雇用などを実施しています。働きやすい職場づくりに向け、育児休暇、短時間勤務などの制度も設けています。

信州大学で講演する中島彰良代表取締役CEO

茨城県内養護学校の研修生

■ 近年のトピックス

天皇陛下が東京工場をご視察

2008年7月、環境問題へのご関心の深い天皇陛下が東京スーパーエコタウンにある東京工場をご視察されました。

ご視察される天皇陛下(2008年7月)

エコタイムズの公開 | http://re-tem.com/ecotimes/

10年以上続いたCSRレポート(冊子)を、現在はエコタイムズ(ブログ)で、旬な話題を公開しています。

会社概要 OUTLINE

会社名	株式会社リーテム(Re-Tem Corporation)
代表者	代表取締役 CEO 中島彰良
所在地	■ 本社 〒101-0021　東京都千代田区外神田三丁目6番10号 TEL:03-3258-8586　FAX:03-3251-5804 ■ 水戸工場 〒311-3116　茨城県東茨城郡茨城町長岡3520 TEL:029-292-1220　FAX:029-292-1225 ■ 東京工場 〒143-0002　東京都大田区城南島三丁目2番9号 TEL:03-3790-2100　FAX:03-3799-8500
創業	1909年(明治42年)
会社設立	1951年(昭和26年)
資本金	1億円
事業内容	資源のリサイクル及びリユース／製鋼原料及び非鉄貴金属原料の売買／ 建築物・工作物の解体・移設・撤去／資源循環・リサイクルに関するコンサルティング／ エコインダストリアルパークなどにおけるリソースマネジメント及びエコセンターマネジメント
許可	産業廃棄物処分業・産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物処分業・第一種フロン類回収業・ 一般建設業・倉庫業・古物商・金属くず商

沿革 HISTORY

1909年	創業	初代中島新次郎が水戸に創業、再資源化事業開始
1951年	法人化	法人組織に改め(株)中島商店とする
1952年	東京進出	千代田区外神田に東京支店を設置
1970年	水戸工場	茨城県東茨城郡に工場を移転(現水戸工場)
1993年	独自技術	高性能特殊破砕機プロセスⅠを水戸工場に設置
1997年	社名変更	社名を(株)リーテムに変更
	本社移転	東京支店を本社に変更
	独自技術	高性能微粉砕機プロセスⅡを水戸工場に設置
1998年	J・RIC	広域リサイクルネットワーク(J・RIC)を組織化
2001年	環境ISO	ISO14001の認証を取得
	CSR	環境報告書の発行を開始
2005年	東京工場	大田区城南島(スーパーエコタウン)に東京工場竣工
	情報ISO	ISMS(情報セキュリティ)を取得。2006年にISO27001へ移行
2007年	RISM	統合マネジメントシステムRISMの運用開始
2008年	北京法人	北京市に早稲田環境研究所と利早(北京)環境科技諮詢有限公司を設立
	行幸	天皇陛下が東京工場をご視察
2010年	首相来訪	鳩山由紀夫内閣総理大臣が東京工場をご視察
2011年	北京法人	北京法人を利泰姆(北京)環境科技諮詢有限公司に変更
	OHSAS	労働安全衛生マネジメントシステムOHSAS18001の認証を取得
	米国法人	シアトル市にRe-Tem Global Eco Management Inc. を設立
2012年	独自技術	タンタルコンデンサ回収リサイクルラインを水戸工場に設置
2013年	小型家電	小型家電リサイクル法に基づく認定事業者に認定(経済産業省・環境省)

受賞歴 AWARD

1996年	平成7年度再資源化開発事業等表彰 (財)クリーン・ジャパン・センター「会長賞」受賞
2000年	水戸工場が茨城県リサイクル優良事業所に認定される
2004年	第2回日本環境経営大賞「環境経営優秀賞」受賞
2007年	東京工場がシカゴ・アセナエム博物館の「2007国際建築物賞」受賞 第4回LCA日本フォーラム表彰「経済産業省産業技術環境局長賞」受賞 東京工場が大田区優工場に認定、「まちに優しい」部門賞受賞
2008年	東京商工会議所「勇気ある経営大賞優秀賞」受賞 3R活動推進フォーラム環境大臣賞「循環型社会形成推進功労者表彰」受賞
2009年	第1回千代田ビジネス大賞「環境貢献部門優秀賞」受賞
2013年	資源循環技術・システム表彰「レアメタルリサイクル賞」受賞((社)産業環境管理協会)